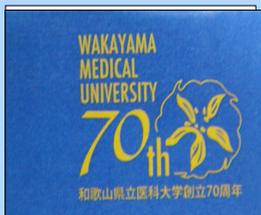


# 医学部同窓会便り



大学創立70周年のロゴはNPO法人和歌山県医学部術振興協会が作成したしたものをお借りいたしました。

## 平成27年度第1回理事会開催



記念祝賀会のコンセプトは、七十周年の節目の単なる記念祝賀会とあわせて二十年、三十年後に繋がる記念祝賀会とするためにオール和医大体制をつくり、多くの在学生の協力をいただき、その学生の中から和医大のみならず日本の医療界のリーダーの誕生を夢見ながら成功裡に終了するために全力で取り組んでいます。



去る、7月30日（木）午後3時30分より生涯研修センター研修室（大学内図書館棟3F）にて平成27年度医学部同窓会第1回理事会が開催された。

理事会では、坂口雅宏副会長の開会宣言に続き、開会挨拶に立った宇野英明同窓会長が「最重要課題である母校創立70周年記念事業につきましてオール同窓会体制で協力することが再確認され、同窓会実行委員会の中の総務委員会、会計委員会、会場委員会の3つの委員会も記念式典記念祝賀会に向けて着々と準備を進めており、後程、宮下和久実行委員長より説明を行っていただきます。もう一つは、本年同窓会も創立45周年を迎える総会が9月12日に開催されます。今後も同窓会の存在意義を高めていくために「大学の最大の理解者」として緊密な連携を取って参りたいと考えてい

ます。第1回評議員会、第45回総会に上程する審議事項について十分にご審議いただきたいと考えています。」と述べ理事会が始まった。

### <同窓会からのお願い>

同窓会では、母校の創立70周年をオール同窓会体制で臨むために役員全員に総務委員会、会計委員会、会場委員会のいずれかの委員会に参画していただきました。

そこで委員の先生方をお願いいたします。お一人でも多くの委員の方に祝賀会へのご出席を同窓会実行委員会を代表しまして宜しくお願い申し上げます。

同窓会 実行委員会 統括責任者 宇野 英明



**宮下 和久副会長  
同窓会実行委員長**

大学創立70周年事業について  
宮下 和久実行委員長より「同窓会内実行委員会の組織体制については、宇野会長の方針で出来る限り多くの皆さんに記念事業に参加していただきたいということから役員全員に実行委員をお願いしています。」また、スケジュールの進捗状況、募金活動について、祝賀会企画について、祝賀会参加者について、記念誌について、記念品について縷々説明が行われた。



**記念誌の編集状況**

羽野卓三記念誌編集委員長より、編集状況は通史、部門史、歴代の部局長の原稿は問題は無く頁数も700頁超になり部門史の圧縮や装丁についても報告された。



**吉村 利規和歌山支部長  
会計委員会委員長**

理事会に先立ち、午後2時30分より生涯研修センター会議室で開かれ、承認された事項について説明が行われた。

募金状況、出席者状況、祝賀会並びに記念誌、記念品についての説明があり、それぞれについては次の実行委員会によって決定していくことが報告された。



岸岡 史郎同窓会誌編集委員長より、同窓会誌8号の編集状況が報告され、特集の紹介、原稿依頼書の送付状況等が報告され、新入生に手渡せるように本年同様に3月末日までに発行を目指して努力することが報告された。



**坂口 雅宏副会長  
会場委員会委員長**

祝賀会企画については、「会場となるダイワロイネットは、旧大学跡地に建設されており、ホテル前の遊歩道には和歌山市の御厚意で、大学創立60周年事業として大学跡地の記念碑を同窓会が建立していますので

是非ご覧になって頂ければと思います。

祝賀会でのアトラクションについては、本校の卒業生並びに医学部、保健看護学部の学生の協力によって素晴らしい企画を用意しています。

祝賀会を成功裡に終了させるために会場委員に選ばれた先生方のご協力をお願いいたします。」と協力を呼びかけた。



元同窓会長、NPO和歌山県医学学術振興協会の森庸亮理事長より応援している寄付講座のために募金箱を製作中ですので協力依頼が行われた。



監査報告：長崎 靖彦監事



監査報告：川村 仁志監事

**監査報告**

長崎 靖彦監事、川村 仁志監事により、平成27年7月17日に会計監査が行われ適正妥当であるとの監査報告を両監事より報告され平成26年度の会計監査は承認された。

そのほかにも第1回評議員会式次第第、第45回同窓会総会式次第等も協議され承認され、宮下副会長の閉会挨拶で第1回理事会は終了した。

# 着々と進む和歌山県立医科大学創立70周年記念事業



同窓会の存在意義を高める記念祝賀会にをモットーにその一つにオール和医大体制でこの事業に取り組みることが確認され、私達手作りの祝賀会として企画立案して参りました。

昨年からは幾度となく開かれた会長副会長、実行委員会を通じて他大学でご活躍の先生方や他分野でも優れた才能をお持ちの先生方の動向を知り、その先生方のお力をお借りし、学生の協力を得て祝賀会の準備を進めています。

## 大学創立70周年記念事業記念祝賀会はオール和医大で大枠決まる！

去る8月6日（木）、同窓会内大学創立70周年記念事業実行委員会が開かれ、冒頭に祝賀会について、坂口会場委員長より、7月19日ホテル担当者との面談し会場などの説明を受け、8月1日に今回のアトラクションについて大変ご尽力をいただいた志波 充先生、今回の祝賀会へのご協力を快くお引き受け頂きました嶋 公大先生、伊良波範子先生そして宇野会長と私の5人で意見交換を行い、祝賀会に向けて大きく前進したことが報告された。

また、会場入りロロビーに紀州材を使った「森の茶屋」を設置し、茶道部、軽音楽部、ミュージックボランティア等の数多くの学生にもお手伝いをお願いし快諾を得てまさに学生と卒業生が一体となった祝賀会の開催が現実のものとなった。

そして、お手伝いをいただいた学生の中から20年、30年後には母校のリーダーとして活躍している姿に夢を馳せ宇野同窓会長、宮下、坂口両副会長を始め役員の方が一丸となって記念祝賀会に取り組んでいるところです。



**シークレットゲスト**

和医大に大変ゆかりのある方を嶋先生のご尽力で出演していただく予定です。  
**お楽しみにして下さい。**

### 名うてのサクソ奏者

嶋 公大先生は、学生時代からサクソ奏者として名高い活躍はつとに有名である。

整形外科医として活躍する一方でサクソソリストとしても有名でプロ奏者と共演するなど和歌山県立医科大学きっての名うてのサクソ奏者でもあり、知る人ぞ知る存在である。

### 異色の才媛

伊良波範子先生は、朝日新聞に和服のジャズシンガーとして紹介され、神戸女学院大学英文科を卒業され家庭に入りながら英語通訳案内業の資格を取得。その後、和歌山県立医科大学に入学、ご卒業。

現在、和歌山市内で開業。一方ジャズシンガーとして関西を中心に活動を続け注目を集めている。

今回の祝賀会の要となる部分のコーディネーター的役割を嶋先生にお願いしています。

また、美しい英語を操る伊良波先生のジャズ、嶋先生のサクソ演奏、学生軽音楽部とのコラボも予定していますので卒業生による祝賀会記念公演をお楽しみにして下さい。